

**1. S/JリーグII 祝・準優勝！！**

11月18日(金)～20日(日)に北海道苫小牧市で開催されましたS/JリーグII 2022に出場しました。今年参加6チームのリーグ戦で、4勝1敗で「第2位」の結果となりました。詳細は大会公式HP(<https://www.sj-league.jp/sj2/>)をご確認ください。

**【1試合目】 UBE 3 — 0 旭工芸**

第1ダブルス 芦塚・石井 2 — 0 古屋・山元 (21-10、28-26)	シングルス 藤井 2 — 0 金子 (21-15、21-16)	第2ダブルス 桐田・福間 2 — 0 福嶋・石橋 (21-13、21-19)
--	---------------------------------------	--

昨年は8チーム中7位と苦渋を舐めた悔しさをバネに練習に練習を重ねて挑んだ大事な初戦。中国総合でも優勝して力を着実につけてきた芦塚・石井ペアが見事先制します。続くはUBEが誇るシングルの柱・藤井。S/JリーグII 参戦以降負けなしの藤井は安定した試合運びで白星を手にします。チームの勝ちが決まった中での第2ダブルスの桐田・福間も勢いに乗って勝利します。昨年なかなか勝ち星を得られなかったダブルスで2勝を勝ち取り幸先良いスタートを切りました。

**【2試合目】 UBE 1 — 2 トリッキーパンダース**

第1ダブルス 芦塚・石井 0 — 2 上田・鈴木 (20-22、12-21)	シングルス 藤井 2 — 1 森田 (19-21、21-9、21-14)	第2ダブルス 桐田・福間 0 — 2 リャオ・柴田 (15-21、16-21)
--	--	---

続いての対戦相手は外国籍補強選手を擁するチームで、オーダーは1試合目と同じで挑みました。残念ながら第1ダブルスは落としてしまうも、頼りになるシングルの藤井は勝利をチームに届けてくれます。1-1で迎えた第2ダブルスは、相手は補強選手だけありその力の前に敗れ、1日目を終えて通算成績1勝1敗となりました。

**【3試合目】 UBE 2 — 1 JR北海道**

第1ダブルス 芦塚・石井 0 — 2 渡部・光島 (12-21、16-21)	シングルス 藤井 2 — 0 加藤 (21-11、21-19)	第2ダブルス 桐田・福間 2 — 1 東野・武石 (21-13、19-21、21-10)
--	---------------------------------------	--

1勝1敗で迎えた3試合目。ここで上位に喰い込めるか下位に沈むかの分かれ目となる中盤戦です。相手に地元の声援を味方につけられて第1ダブルスを落とすも藤井が勝利し、一進一退の攻防です。勝敗が委ねられた第2ダブルスはファイルゲームの激戦を制して桐田・福間が勝ち、チームとしても嬉しい2勝目をあげました。

**【4試合目】 UBE 2 — 1 セーレン**

第1ダブルス 桐田・大田 1 — 2 小森園・及川 (21-19、20-22、17-21)	シングルス 藤井 2 — 0 服部 (21-11、21-11)	第2ダブルス 芦塚・石井 2 — 1 勝矢・神野 (16-21、21-8、21-11)
---	---------------------------------------	---

大会開始から勝ち星のないセーレンは、是が非でも1勝をという意思で迎えた4戦目。UBE内定選手の大田(北翔大)と桐田のペアリングでの第1ダブルスは競り合うもファイナルゲームで落としてしまいます。シングルの藤井は安定した試合運びで制し、第2ダブルスへ繋ぎます。その第2ダブルスも必死に食い下がる相手に対し芦塚・石井が競り合いを制し、2日目を終えた時点で3勝1敗と最終日まで優勝に絡む位置につけています。この時点で4勝のトリッキーパンダースが最終戦で1敗のJR北海道との直接対決、そしてUBEの最終戦の成績で優勝の行方が異なり、様々な思いが最終日に向けられます。

**【5試合目】 UBE 2 — 1 AC長野パルセイロ**

第1ダブルス 桐田・福間 0 — 2 絵面・山内 (17-21、19-21)	シングルス 藤井 2 — 0 三枝 (21-19、21-12)	第2ダブルス 芦塚・石井 2 — 0 中野・斉藤 (21-14、21-19)
--	---------------------------------------	--

全勝チームと1敗チームの直接対決は気になるものの、我がチームは目の前の今行うべきことに集中し最終戦に臨みました。第1ダブルスは残念ながら落としてしまいましたが、続くシングルスは絶対エースの藤井が勝利し続く第2ダブルスは芦塚・石井が実力を発揮し2-0で締めくくり、チーム4勝1敗の好成績をあげました。

**【藤井湧也 3度目の敢闘賞！！】**

今大会もシングルスに全出場して全勝した藤井に敢闘賞が授与されました。一昨年・昨年からシングルスで一つも落とさずに勝ち続けており、通算すると19連勝中です。まさにUBEの誇れる『シングルの柱』です。

**【集合写真】**



<上段左から: 桐田副主将、福間、森永、芦塚、河村コーチ、松尾副部長、米元監督>  
<下段左から: 石井、古川主将、藤井、大田(内定選手)、山下>

**【最終成績】**

**バドミントン S/J リーグⅡ2022 成績一覧**

令和 4年11月20日(日)  
バドミントンS/Jリーグ委員会

男子の部

チーム名	トリッキーバンダース	UBE	JR北海道	旭工芸	AC長野パルセイロBC	セーレン	勝	敗	マッチ率	ゲーム率	ポイント率	順位
トリッキーバンダース		○ 2-1	○ 2-1	○ 3-0	○ 2-1	○ 2-1	5	0	0.733	0.719	0.540	1
UBE	● 1-2		○ 2-1	○ 3-0	○ 2-1	○ 2-1	4	1	0.667	0.618	0.541	2
JR北海道	● 1-2	● 1-2		○ 3-0	○ 2-1	○ 2-1	3	2	0.600	0.625	0.522	3
旭工芸	● 0-3	● 0-3	● 0-3		○ 2-1	○ 3-0	2	3	0.333	0.333	0.461	4
AC長野パルセイロBC	● 1-2	● 1-2	● 1-2	● 1-2		○ 2-1	1	4	0.400	0.441	0.490	5
セーレン	● 1-2	● 1-2	● 1-2	● 0-3	● 1-2		0	5	0.267	0.286	0.452	6

## 【監督・主将 コメント】



米元監督:優勝・S/Jリーグ昇格を目標にこの1年間取り組み、選手はベストな状態で本大会に臨む準備をしてきてくれました。試合は最終戦を残して他チームの結果次第では優勝の可能性を残した中での展開となりました。

選手には「最終戦に勝って苦小牧の寒気を歓喜に変える戦いをしよう!」と話しました。最終戦は勝利したものの、あと一步届かず準優勝となりました。本大会では課題であったダブルスが奮闘し、今後に可能性を感じさせる大会となりました。今後はそのあと一步、シューズ1足分の足を伸ばす練習をしてまいりますので引き続き応援の程お願いします。



古川主将:平素より多大なるご支援を賜り誠にありがとうございます。昨年は藤井選手が2年連続全勝し、チームに勢いをくれましたが、ダブルス陣が思うような力を出せず7位と悔しい思いをしました。今年は安定した藤井選手のシングルス筆頭に、

ダブルス陣の悔しさをバネに1年間努力してきた成果が表れたと思います。惜しくも2位となり、目標である優勝・S/Jリーグ昇格とはなりませんでしたが、来年こそは全勝しての優勝・S/Jリーグ昇格を達成すべく、またチーム全員で切磋琢磨していきますので応援の程よろしくお願いします。

## 2. 全日本シニア選手権大会 40歳代の部 渡邊選手3位入賞! 🙌🙌

S/JリーグⅡと時を同じくして開催されていた全日本シニア選手権大会で、渡邊和人選手が出場し、40歳以上の部でダブルス・シングルス共にベスト4まで勝ち上がり、見事3位入賞を果たしました。ダブルス準決勝では本著(あらわ)すほどの名プレイヤー藤本ホセマリ選手と戦うも勝ち切ることは出来ませんでした。

ダブルス3位入賞(左:渡辺 右:ペアの森永選手)



シングルス3位入賞



詳細は大会公式HP(<http://www.badminton-a.com/20221121senior/result.htm>)をご確認ください。

## 3. 次なる舞台は全日本総合!

12月24日(土)~30日(金)にかけて、第76回全日本総合バドミントン選手権大会が東京都で開催されます。全日本社会人でシングルス9位に入賞した藤井、中国総合シングルス優勝の桐田、ダブルス優勝の芦塚・石井、混合ダブルス優勝の福間(ペアはACT SAIKYO/柏原選手)が出場枠を得ていますので、予選からではありますが出場します。

まずは予選を勝ち抜いて本選に進出することを目指しますので、応援をよろしくお願いします。

本紙に関するお問い合わせは [e-mail :25742u@ube.com](mailto:25742u@ube.com)

〒755-0024 山口県 宇部市 野原 1-2-38

UBEバドミントン部後援会事務局 吉川 直樹

HP : <https://ube-badteam.org>